



芸南トピックス



▲検査を前に、全圃場を目視確認する様子



芸南馬鈴薯採種組合 春作 植物防疫所 圃場検査の立会

芸南地域本部管内は、「種子用馬鈴薯」の生産が認められた全国的にも珍しい産地です。国の指定機関である「種苗管理センター」より、無病の種イモを仕入れ、同管内で増産した種子用馬鈴薯は、管内はもちろん全国に流通します。

「種子用馬鈴薯」は、病気の感染を防ぐため、国の機関である植物防疫所の厳しい検査を受け、合格したもののみが販売を許可されます。今春も4月28日に1回目、5月16日に2回目の立入検査を受けました。

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農産物の生産拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



6月中旬～
7月上旬の
おすすめ



梅雨明けが待ち遠しい季節ですね。
春に植え付けた野菜も収穫し始めたところかと思えます。
新鮮な野菜を求め、ふれあい市にぜひ遊びにお越しください!



マル赤馬鈴しょ

5月下旬～

安芸津の赤土の圃場で栽培されている「マル赤馬鈴しょ」です。5月末から出荷されます。みずみずしくホクホクとした甘みが特徴。コロッケやポテトサラダにおすすめです。



ハウススイカ

果肉がシャキッとジューっとジューシーなハウススイカ。甘くておいしいです。



びわ

5月末～6月末まで

びわは5月末～6月の終わりにかけて出荷されます。品種は長崎早生、茂木、なつたより、福原、田中などです。甘くてジューシーなびわをお楽しみください。

※写真はイメージです。

その他か

ミニトマト・キュウリ・ナス
青梅や桃なども店頭に並びます!



初夏のふれあい祭り

開催日時

令和5年 6月24日(土)
25日(日)
9:00～15:00



※写真は今年2月に開催した「柑橘祭り」の様子です。

青空市で新鮮なマル赤馬鈴しょとびわを販売します。
店内には旬な新鮮野菜もご用意してます。

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか?
興味のある方は下記の連絡先まで
お問い合わせください。

☎0846-46-1166

安芸津アグリセンター 担当：高本まで



各種ローン利用の
みなさまへ

合併により「利息計算書」の発送を終了することとしておりましたが、システム不具合により、引き続き「利息計算書」が発送されておりました。現在は、発送停止手続きが完了しております。今後は、「農業資金」「事業資金」のみ発送しますので、ご了承いただきますよう、お願いいたします。

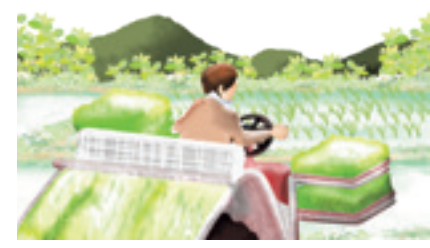
なるほどえ〜のう！ 営農情報

6月

水稲

●田植え後の水管理

移植後の幼穂形成期の水管理は、「保温効果」「雑草の抑制」「養水分の供給」など、育成や、収量の確保、品質に大きく影響のある重要なものです。水稲の生長点が、土壌中にあり、「地温」と「水温」から影響を受けやすいので、生育初期は、細やかな水管理が必要です。



5月 植付後…やや深水、活着後…浅水
6月 植付後約1カ月で、2週間程中干し

水稲 問 安浦店
TEL 0823-84-2049
担当 桑原 伸明

野菜

●馬鈴しょの病害虫防除と収穫貯蔵の管理

生育後半となり、病害虫の発生も多くなります。本作は雨が多く、特に病気の管理に注意が必要です。観察・防除を徹底しましょう。



〔防除例〕

- 〔収穫2週間前まで〕
（アブラムシ・疫病対策）
・モメントフロアブル 4,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）
・フオリオゴールド 1,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）
- 〔収穫1週間前まで〕
（ジャガイモガ・疫病対策）
・ランネット45DF 1,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数5回以内）
・ペトファイター顆粒水和剤 2,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）（ヨトウムシ類）
・フェニックス顆粒水和剤 2,000倍液（収穫前日まで、使用回数2回以内）または
・ベネビアOD 4,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）または
・デアナSC 5,000倍液（収穫前日まで、使用回数2回以内）

るよう散布してください。（総使用回数6回以内）
〔収穫〕
茎葉が70〜80%倒伏し2〜3日晴天が続いた後に収穫します。収穫は早すぎると減収し、遅れると腐敗が増加します。
〔乾燥〕
収穫時の降雨と貯蔵性は密接な関係があり、晴天の続く日を見計らって抜き取り、2〜3日地干しした後に収納します。地干し処理は貯蔵中の腐敗防止効果が高く、腐敗率はかなり低下します。
〔貯蔵〕
乾燥後、直射日光の差し込まない風通しの良い小屋に吊り下げて貯蔵します。
コンテナに並べて貯蔵する場合は、収穫時に葉を玉の上、8〜10cm残して切り落とし、風通しに注意し、薄く広げて風乾貯蔵します。天候が悪い場合は扇風機などで強制乾燥します。



●玉ネギ収穫前の防除と収穫貯蔵の管理

（腐敗防止と貯蔵性向上）
・ペンレート水和剤2,000倍液（収穫前日に）玉ネギの玉球によくかか



果樹

かんきつ

温州みかんは全体的に着花量が多く、「摘果」が最重要作業となります。この秋に高品質果実生産を行なう為にも、美味シートによる被覆や基本管理を徹底しましょう。特に施肥・中晩柑類の摘果は今年度だけでなく次年度にも影響してきますので、適期にしっかりと対策を行ないましょう。



○摘果剤（タムム水溶性）の散布

今年度の温州みかんは豊作樹が多く、人力による「摘果」が膨大な労力となります。そこで、摘果剤（タムム水溶性）を有効活用しましょう。

- ・間引き摘果の場合
使用回数…1,500倍液
使用時期…満開20日〜40日後
（二次生理落果発生時）
- ・内なり等の部分摘果の場合
使用回数…1,000倍液
使用時期…満開10日〜40日後
（生理落果発生時）

★散布ポイント

- ・温度の高い日に散布（最高気温が25℃以上で、天候の良い日）
- ・果実の大きさが20mm以下の時（果実

が大きくなると落ちにくくなります）

○夏肥の施用

夏肥の施用適期は5月下旬です。温州みかん・中晩柑類ともに施用されていない園地では、基準に従って施用しましょう。

○間伐・下枝除去の徹底

今年度の着果量を制限し、摘果作業の軽減化と今年成らせる果実の品質向上の為、5月に引き続き間伐と主幹から出た不用な下枝を切り落しましょう。園内環境が改善されると、防除や摘果作業が楽になり、病害虫の発生も少なくなります。

○病害虫防除の徹底

6月中下旬は、黒点病・ミカンハダニ・カイガラムシ類の最重要防除時期となります。時期を逃さないよう適期に防除しましょう。

使用薬剤は、ジマンダイセン水和剤
又は、ペンコゼブ水和剤 600倍液
クミアイアタックオイル 150倍液
トランスフォームフロアブル 2,000倍液です。右記薬剤に元氣一番 1,000倍液も混用し、樹勢を維持しましょう。

○マルチの被覆

糖度の高い果実生産を行なう為には、十分な着果量と土壌の水分コン

ロールが必要です。

今年は6月から準備を行ない、土壌水分のある内から美味シート等のマルチ資材を被覆しましょう。

○中晩柑類の摘果

中晩柑類の大玉生産には、夏肥の施用と早めの摘果が重要となります。価格の良い大玉果実を生産する為にも、6月下旬から摘果しましょう。

びわ

○収穫について

高温時に収穫すると日持性が悪くなり腐敗に繋がる為、早朝等の涼しい時間帯に収穫しましょう。また収穫・選別が重なりと労力面からも早もぎに繋がる為、JAの冷房施設を積極的に利用し、計画的に出荷しましょう。尚、冷房びわ出荷者については、開花期防除を実施されている生産者が対象となります。



いちじく

○摘心作業について

収穫を早める為（枝の伸長を抑え果実に養分を回す）、展葉11枚で摘心（新梢の先端を摘み取る）しましょう。また摘心後に出た副梢は先端の芽だけ残し（その後、展葉2枚〜3枚で摘心）、それ以外は着色不良及び小玉果の要因



＜馬鈴しょの生産者のみなさまへ＞

現在、馬鈴しょの「ウイルス病」が多発しています。感染源となる「アブラムシ」を防除し、感染を減らさなければ、生産量が減少し、将来産地が維持できなくなります。特に、畑に残った芋（野良イモ）は早めに除去してください。あわせて種芋は健全なものを購入・更新し、切断する場合は包丁を殺菌しましょう。

＜農薬の安全使用基準を守り、生産工程管理日誌を提出しましょう！＞

生産工程管理日誌は、出荷物の安全を守る大事な記録です。出荷者ご自身の信用と安全を守るためにも、農薬使用には細心の注意を払い、記録・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課

TEL 0846-45-3360
担当 久保 勝義

となる為、根元からかきとりましょう。

●追肥

果実肥大が悪い場合、6月下旬に硫酸加里を施用しましょう。(20kg/10a)

●かん水

晴天が5日〜7日間続く場合は、かん水を行ないましょう。

農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全の為、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全の為、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となっておりませんが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。但し、農薬ごとに作物名が似ているなど、間違いやすいものがありますので、厳重に注意し使用してください。



鳥獣害に気をつけて!!

●シカに注意!!

苗を植え付け、ほったしたところで、野生のシカが農作物を荒らしてしまいます。

山に食べるものがなくなると、里山へ降りて、わたしたちが育てた農作物を食べてしまいます。シカによる食害は、全国各地で発生しており、その被害は深刻です。

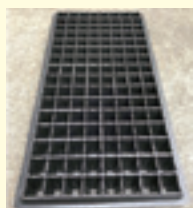
シカは対策を行なっても、身体能力が高く、群れで行動するため、シカの動きを止めることは困難です。シカを圃場に近づけないよう、さまざまな対策を講じましょう。



果樹問 安芸津アグリセンター
TEL 0846-4510488
担当 広果連駐在技術員 須野田 祐也

6月の野菜作付情報

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂きますご利用ください。



128穴セルトレイ



(商品例)キャベツ苗

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	初秋	6月中旬～	8月中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

栽培品目(例)

分類	品目例
葉菜類	長ネギ、コマツナ、チンゲンサイ、パセリ、シソ
根菜類	ダイコン、ラディッシュ、小カブ、サツマイモ
果菜類	エダマメ、オクラ、キュウリ

※作型については、種子袋など品目毎の資料を参照ください。

野菜作りのなぜ?

肥料なしでは野菜は育ちませんか?



自然界では、植物を育てた養分は、やがて土に帰り、次世代の成育に使われます(物質の循環)。

一方、菜園では作物を育てた養分を私たちが収穫して外に持ち出すため、養分は減っていきます。

そのため、肥料を与えなければ、作物は十分な成育をしないと考えられます。多くの場合、初期成育に元肥(もとひ)、作物の必要量に合わせて、成育期に追肥(ついひ)をします。

また、果樹などでは場合によって収穫後の次期作にむけお礼肥(おれいひ)、などが必要となります。

出典:2022年 家の光4月号
「なぜ?」がわかると腕が上がる!家庭菜園の教科書